

事務事業名		農業集落排水施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	整備維持グループ	課長名	内田俊行
	施策名	(16)下水道の整備		担当者名	安部和吉	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4611
	目的: 対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。		予算科目	会計 2 5 1 5 0 1 1 款 5 0 1 目 5 1 1 中事業名 農業集落排水施設管理事業 中事業名 農業施設管理事業 中事業名 農業コンポスト施設管理事業
	基本事業名	(046)下水道施設の維持管理		目的: 対象	下水道接続済の市民	意図	下水道に排水できるように維持管理する。

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・維持管理業務委託 ・処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕等

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・施設等の維持管理 農業集落排水処理施設 22箇所 (加茂町 5箇所、木次町 5箇所、三刀屋町 7箇所、吉田町 1箇所、掛合町 4箇所) 中継ポンプ 184箇所	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・同左			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	処理区数	箇所	22	22	22	22
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア	処理区域内人口	人	10,666	10,489	10,235	10,026
		イ						
		ウ						
		④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	①適正に維持管理する ②生活環境を改善する ③汚水を浄化する	ア	汚水BOD除去率	%	96.6	96.7	98.0	99.0
		イ						
		ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
加茂町地区	46,313千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
木次町地区	27,743千円		県支出金	千円				
三刀屋町地区	61,264千円		地方債	千円				
吉田町地区	6,563千円		その他	千円	171,528	158,672	171,282	167,379
掛合町地区	29,397千円		一般財源	千円				
コンポスト	2千円		事業費計(A)	千円	171,528	158,672	171,282	167,379
計	171,282千円	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
			延べ業務時間	時間	880	880	880	
			人件費計(B)	千円	3,491	3,588	3,812	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	175,019	162,260	175,094	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・農業集落排水施設の老朽化に伴い、平成27年度8地区について機能強化対策計画を作成し、平成30年度工事を実施した。	・機能強化対策計画に基づいた施設の改築・更新工事を実施し、ライフサイクルコスト縮減に努めていく。 ・平成29年度策定した汚水処理施設整備構想に基づき、下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合を実施していく。	・適切な維持管理。

事務事業名	農業集落排水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	適正な施設の維持管理を行っており、BOD除去率は高水準で推移しておりこれ以上の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	維持管理は、継続的に実施しなければならないので、廃止・休止はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合	理由	汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設の統合により、施設数の削減ができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	維持管理業務を行う上で必要最小限の経費にて実施しており、現段階ではこれ以上の削減余地はない。ただし、今後施設の統合を進めることで、市全体では事業費の削減が期待できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	施設の管理は、既に委託形式をとっており人件費の削減余地はない。現在でも最低限の人員及び業務時間で業務を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	下水道使用料を賦課しているため公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	*適切な維持管理により、処理施設の運転に支障をきたさなかった。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>・経年劣化により、修繕費用が増大の傾向にあるため、適正な維持管理や予防保全に努め、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図らなければならない。</p> <p>・農集施設の負担軽減のため、使用についての注意事項を幅広く使用者へ周知する必要がある。</p> <p>・汚水処理施設整備構想に基づき、下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合を実施していく。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		